

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

1 施設の概要等

施設名	広島県総合グランド		
所在地	広島市西区観音新町二丁目11番124号		
設置目的	スポーツの普及発展と県民の体位の向上を図る		
施設・設備	メインスタジアム、補助競技場、野球場、ラグビー場、運動場等		
指定管理者	5期目	R3.4.1～R8.3.31	ひろしま未来創造パートナーズ (ミズノ・ミズノスポーツサービス・広島県教育事業団・ユニサス・持続未来共同企業体)
	4期目	H28.4.1～R3.3.31	セイカスポーツセンター・鹿島建物・西尾園芸共同企業体
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	ミズノ・広島県教育事業団グループ共同企業体
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	広島県教育事業団
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	ポラーノグループ特定共同企業体

2 施設利用状況

利用状況(※)	年度		目標値 [事業計画]	稼働率 (メインスタジアム)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R6	96.6%	100.0%	4.2ポイント	3.4ポイント	(103.5%)
		R5(参考)	—	95.8%	—	—	—
	年度		目標値 [事業計画]	利用者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R5	400,000人	250,181人	19,618人	△149,819人	(62.5%)
		R4	400,000人	230,563人	55,268人	△169,437人	(57.6%)
		R3	370,000人	175,295人	△157,857人	△194,705人	(47.4%)
	4期平均 H28～R2		397,400人	333,152人	△44,203人	△64,248人	(83.8%)
	3期平均 H23～H27		315,000人	377,355人	75,525人	62,355人	(119.8%)
	2期平均 H20～H22		291,000人	301,830人	31,412人	10,830人	(103.7%)
	1期平均 H17～H19		292,000人	270,418人	26,922人	△21,582人	(92.6%)
	H16(導入前)		—	243,496人	—	—	—
増減理由	メインスタジアムは、広島サッカースタジアム新設の影響で、陸上競技の大規模大会が広島広域公園へ移り、大会数が減少したが、それに代わる大会の誘致や自主事業であるスポーツ教室や地域に密着したイベントの実施などにより、稼働率は高水準を維持している。						

※令和6年度に目標値を利用者数から稼働率に見直した。

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】
	利用者意見箱「皆様の声」設置		施設利用者：0件
	利用者アンケートの実施(年：2回)		施設利用者：71件
	自主事業アンケート実施(12教室)		スポーツ教室及びイベント参加者：138件
	【主な意見】		【その対応状況】
	水飲み場が汚れている時があるので綺麗にして欲しい。		施設巡回を強化し清掃の徹底を実施。
	トレーニング室のマナーが悪い方がいるので注意して欲しい。		施設巡回の強化と表示物の掲示、声かけの実施等、注意喚起を実施。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報(必要随時)	○	修繕作業報告書、事故報告、苦情報告等
管理運営会議 (12回・広島県庁)		【特記事項等】 施設利用状況、自主事業実施状況、施設・設備の管理状況等の報告と	

現地調査（４月、７月、１２月、３月に実施）	意見交換協議を行った。 【指定管理者の意見】 施設・設備の状況を把握し、修繕計画を提案。 【県の対応】 労働条件調査（４月）・野球場現地調査（７月）・補助競技場工事打合せ（１２月）・補助競技場公認検定（３月）
-----------------------	--

５ 県委託料の状況

（単位：千円）

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	
	５期	R6	97,960	638		５期	R6	18,725	△873	
		R5	97,322	1,603			R4 <td>18,637</td> <td>3,897</td>	18,637	3,897	
		R4	95,719	△588				R3 <td>14,740</td> <td>△2,346</td>	14,740	△2,346
		R3	96,307	8,413					4期平均 H28～R2	17,086
	3期平均 H23～H27	80,084	2,857	3期平均 H23～H27		17,213	1,810			
	2期平均 H20～H22	77,227	△19,397	2期平均 H20～H22		15,403	△1,323			
	1期平均 H17～H19	96,624	△62,146	1期平均 H17～H19		16,726	△529			
	H16（導入前）	158,770	—	H16（導入前）		17,255	—			

６ 管理経費の状況

（単位：千円）

項 目			R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委 託 事 業	収 入	県委託料	97,960	97,322	638	
		料金収入	18,725	19,598	△873	利用料金制（※１）
		その他収入	3,365	3,239	126	
		計(A)	120,050	120,159	△109	
	支 出	人 件 費	40,123	38,052	2,071	最低賃金引上げによる人件費単価の増
		光熱水費	17,419	17,080	339	
		設備等保守点検費	13,298	13,632	△334	
		清掃・警備費等	33,564	33,096	468	
		施設維持修繕費	1,812	2,995	△1,183	修繕費の減
		事務局費	4,589	5,344	△755	
		その他	10,150	9,790	360	
		計(B)	120,955	119,989	966	
	収支①(A-B)	△905	170	△1,075		
自主事業 (※2)	収 入(C)	5,087	4,346	741		
	支 出(D)	4,414	4,302	112		
	収支②(C-D)	673	44	629		
合計収支(①+②)			△232	214	△446	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島県総合グランド設置及び管理条例・管理運営規則・仕様書を遵守し、適切に業務を実施した。	施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	地域町内会と連携して「ひろスタサマーフェスタ」の開催や、ラグビーリーグワン公式戦をメイングランドで誘致実施した。また、自主事業として、陸上やサッカーをはじめとしたスポーツ教室やフィットネス教室をきめ細やかに実施した。	地域と連携したイベントを実施するほか、構成企業の特性を生かしたスポーツ教室の実施など、県民がスポーツに親しむ機会の増加に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホームページやSNSを活用した情報発信も実施した。 また、行事予定や自主事業で開催するスポーツ教室について、地元紙への折込広告や、地域情報誌等を活用して幅広く利用者促進に努めた。	ホームページやSNSのほか、地元メディアを活用した情報発信も積極的に行い、利用促進に向けた取組を実施している。
	○施設の維持管理	メインスタジアムの更衣室や審判控室の照明をLED化した。また、毎日巡回点検を行うことで不具合を早期発見し、迅速な自主修繕に努めた。	積極的な自主修繕や施設の管理・整備を行い、利用環境の改善や安全管理に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	必要な資格を有する経験豊富な人材の組織体制で管理運営を実施し、新たに1名がスポーツ施設運営士の資格を取得した。共同企業体各社が役割分担を明確にし、各業務に選任責任者を配置することで、連携を密にして、きめ細かい維持管理を実施した。	職員の配置、緊急時の連絡体制の整備は、仕様書及び事業計画書に沿って適切になされている。
	○効率的な業務運営	顧客満足度向上のため、接客研修や防災訓練、AED講習会のほか、人権研修を実施し、スタッフの能力向上に努めた。	利用者の立場に立った丁寧な対応を行っている。また、各種研修の実施等により、利用者サービスの向上や利用者の安全確保体制の強化を図っている。
	○収支の適正	燃料価格高騰への対応として、未交換の照明器具をLED化し節電を実施した。さらに、内製化による修繕費削減で収支の適正化に努めた。	燃料価格高騰の影響下においても、収支の改善に向け、適切な対応に努めている。
総 括		照明器具のLED化などにより経費削減に取り組むとともに、スポーツ教室などの自主事業を積極的に実施し、施設の利用促進に努めた。	地域連携イベントやスポーツ教室等の自主事業に積極的に取り組み、地元メディアやSNSで情報発信を行い利用促進を図っている。また、資格取得や講習等でスタッフの能力を高め、サービス向上に努めている。 目標達成に向けて、引き続き利用促進に向けた取組が必要である。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	目標達成に向けて、引き続き、自主事業を積極的に実施するなどし、施設の利用促進に努めるとともに、設備の更新や不具合箇所発生時の修繕を迅速に行う。	利用者が安全・安心にスポーツ等を実施できる環境を整えることにより、引き続き高水準の稼働率維持に努める。
中期的な対応	経年劣化が著しい施設、設備の修繕計画の提案、協議を行うとともに、さらに暑熱対策等、利用者が安全・安心にスポーツ等が実施できるよう対策を検討する。	施設の保全並びに機能維持と利用者の安全確保に加え、施設の長寿命化を図るため、利用者のニーズや安全性等による優先度に応じて計画的に施設設備の改修を行う。